

Windows XP では 100% の帯域を使えますが、デフォルトで QoS(Quality of Service : ネットワーク上で特定の通信のための帯域を予約し、一定の通信速度を保証する技術) が有効になっているため、他のプロセスがビジーになると帯域を 80% に絞るよう設計されています。この設定をレジストリ上からコントロールしましょう。まずは以下の手順を実行してください。

1. <スタート>メニュー <ファイル名を指定して実行> と選択。
2. 「名前」欄に半角で「regedit」と入力し、< OK > ボタンをクリック。
- 3.HKEY_LOCAL_MACHINE SOFTWARE Policies Microsoft Windows PSched を開く。

(「PSched」がない場合には新規作成する)

4. <編集>メニュー <新規> < DWORD 値> と選択。
5. 作成された「新しいキー #1」を半角の「NonBestEffortLimit」に変更する。
6. ステップ 5 で作成した「NonBestEffortLimit」をダブルクリックで開く。
7. 「値のデータ」欄に半角で「0」と入力し、< OK > ボタンをクリック。
8. 「レジストリエディタ」を終了し、Windows XP を再起動する。

では、具体的な説明を行いましょう。まずステップ 3 で開いたキーはシステム全体に設定を行う場合です。特定のネットワークアダプタのみ設定する場合は、HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\PSched\Parameters\Adapters\[Adapter-ID]を開いて設

もちろん弊害としてパフォーマンスへの悪影響が発生しますので、それを認識した上で実行しましょう。蛇足ですが、この(システム全体に影響する)設定は「グループポリシー」の「コンピュータの構成」「管理テンプレート」「ネットワーク」「QoS パケットスケジューラ」の「予約可能な帯域幅を制限する」と同等です。